

10/6

豊中2年生が防災キャンプ



豊頃中学校2年生（21名）が1泊2日の防災キャンプをえる夢館はるにれホールで行いました。1日目は防災講話のあと避難所運営ゲーム（HUG）というキーワードが書かれたカードをもとに避難所の対応をシミュレーションするワークショップを4班に分かれて行いました。豊頃中学校服部校長は「いつ災害が起こるかわからないからこそ、避難したときに守られるばかりではなく、中学生自身が率先して行動できるきっかけになれば」と話していました。ワークショップ後は段ボールベッドを使って避難所の設営、翌日は津波被害のあった現場視察などを行い終了しました。

10/12

健康危機管理研修会を実施



北海道総務部危機対策局危機対策課防災教育担当の方を招いて、健康危機管理者研修会が開催されました。「大規模災害（大雨災害）時の避難所開設と感染症対策を踏まえた避難所レイアウト」と題し、避難所開設に伴う感染症対策を踏まえた受付・部屋割り等について演習を交えた講義が、える夢館全体を利用して行われました。道担当者は「避難所では感染対策を徹底した動線が重要であり、被災者の誘導を極力端的に行えるマニュアル作りや準備が大切」と説明。また被災者を受け入れる際の受付の演習を行い、参加者から意見交換がなされ、今後の対応について意見を深めました。

豊頃中学校、豊頃小学校で運動会が行われました



9月28日に豊頃中学校で体育祭、10月3日に豊頃小学校で運動会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康チェックや保護者のみの観覧等、様々な対策を講じて行われました。子どもたちは元気よく競技をこなし、練習の成果を発揮していました。

9/28

十勝池田地方
法人会から寄付

公益社団法人十勝池田地方法人会豊頃地区会杉村優会長から、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、非接触式電子温度計とハンドスプレーディスペンサーと消毒液がセットになったものの寄付を受け、宮口町長から感謝状が贈られました。杉村会長は「これから新型コロナウイルスばかりでなく、インフルエンザも流行する時期なので、出入りの多い各所で使ってほしい」と話していました。

9/29

交通安全指導員
表彰

10年の長きにわたり交通安全指導員として現在も活動されている、長濱竜一さん（大津元町在住）へ、交通安全功労者知事感謝状が贈られました。長濱さんは交通安全指導員として地域の交通事故防止のため尽力され、当日は役場応接室にて宮口町長から「今後も交通安全の推進のためよろしくお願いします」と感謝と共に賞状が伝達されました。

10/2

地域貢献に
感謝状

野田土建・鹿島経常建設共同企業体（田名邊義夫代表 豊頃町）が地域貢献の一環として、町の環境整備に、町道の防護柵の補修作業など、計6か所において行いました。これを受け、役場応接室で宮口町長から地域貢献の感謝状が手渡されました。宮口町長は「町民も大変喜んでいて、今後とも協力していただきたい」と感謝を伝えました。

9/24

大津小で
マツカワの放流体験

大津小学校の総合学習の一環で、大津漁港の一角でマツカワの標識付けと放流が行われました。大津小学校では子どもたちがこの体験を通し、資源維持の大切さや命の尊さを体感することを目的としており、毎年、大津漁業協同組合（中村純也組合長）の協力を得て行っているものです。子どもたちは大津漁港内にある施設で職員から指導を受けながら、水槽から取り出したマツカワの稚魚へ標識を付ける作業を行いました。1年生は初めてということもあり、おそろおそろ作業をしていましたが上級生からのアドバイスもあり、次第に慣れた様子でスムーズに作業をこなし、漁港内へバケツを使って放流しました。

10/4

佐々田沼で MTB 大会



佐々田沼周辺を特設会場とした「ドゥライド マウンテンバイク レース シリーズ豊頃町佐々田沼大会」（東北海道自転車競技連盟主催・ドゥライド主管・豊頃町商工会豊頃支部協力）が開催されました。参加者のマスクの着用や体調チェックシートでの健康チェックなど、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施されました。全11コースの開催で、1年ぶりとなるクロスカンントリーレースも行われ、白熱した試合が繰り広げられました。会場では、レースの合間に豊頃町商工会豊頃支部から鮭のちゃんちゃん焼きが振る舞われ、参加者は旬の味を楽しみました。